

【最優秀賞】

改善・実績報告書

局(区)名	部名	課名	主管する班名
環境経済局	資源循環部	南清掃工場	施設班

改善実施年度	件名
平成29年度	北清掃工場焼却灰の直接埋立ゼロへ

事務・事業の内容 現状及び課題	<p>北清掃工場の焼却灰は、全量を南清掃工場へ運搬。他所灰処理ラインで選別等を行った後再焼却し、減量化・スラグ化を図ってきた。他所灰処理ラインは、他市の先行事例を参考に設置したが、北清掃工場の焼却灰は、一旦水につけて消火した後搬出しており、水分量が多く、南清掃工場で多量に処理を行うと、燃焼温度が低下し、安定的な焼却に支障を生じていた。また、焼却灰に含まれる針金等が装置にからまる等の故障も起きていた。このため、炉への投入量を調整せざるを得ず、年間約2千トンは直接最終処分場に埋め立てていた。</p>
--------------------	--

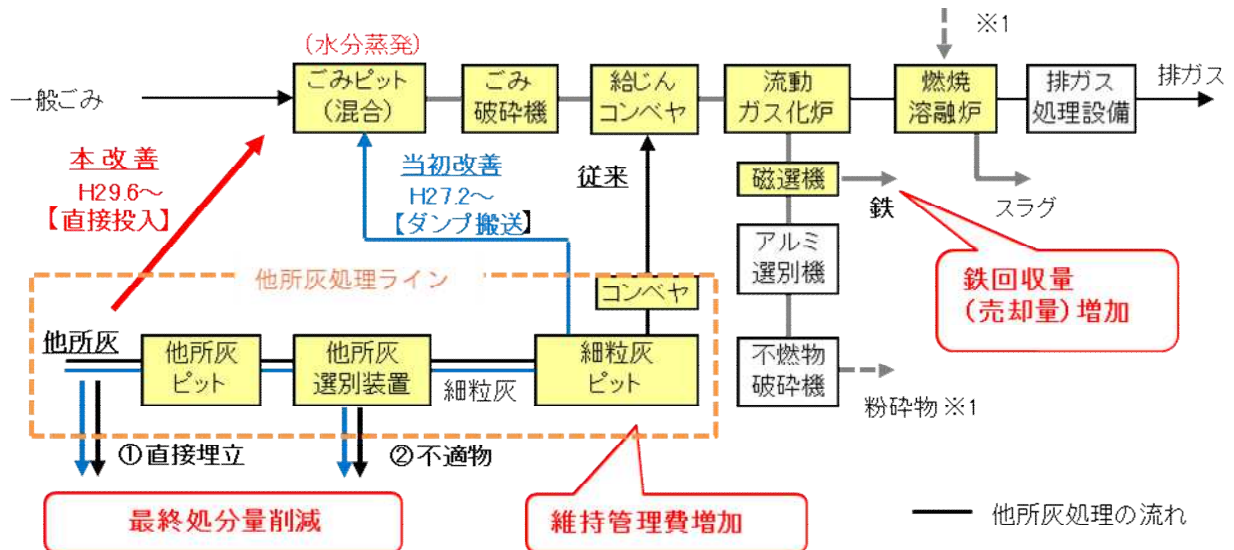
改善等内容	<p>平成26年に他市において、埋立てた焼却灰等を掘り起こして再焼却・スラグ化する施設が整備され、同施設を視察。ごみピットでの攪拌作業や炉の運転時の調整で水分量を調節可能であることが判明。平成27年2月より、他所灰処理ラインから、炉ではなく、ごみピットに運搬し、水分量を調節することとした。この結果、燃焼に支障が生じないよう運転ができることが確認でき、直接埋立量も半減した。さらに、平成29年6月からは、他所灰処理ラインも通さず、直接ごみピットに投入する方式に改善し、全量を再焼却することとした。</p>
-------	--

改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等)	改善前	北清掃工場から南清掃工場に搬入していた焼却灰の一部と、他所灰処理ラインで不適物(針金等の金属、燃え残ったプラスチックなど)として選別されたもの合計約4千トンを、最終処分場に直接埋め立てていた。
	経費的効果 (経費削減・収入増加等)	改善後	<ul style="list-style-type: none"> 北清掃工場の焼却灰の全量を、再焼却により減量化・スラグ化できた。 灰中の金属等の回収が可能となり、不適物として最終処分場へ直接埋め立てていた金属の売払が可能となった。(年間約150ト、約200万円の収入) 他所灰処理ラインの維持管理経費が不要となった。(約6000万円/4年に1回)

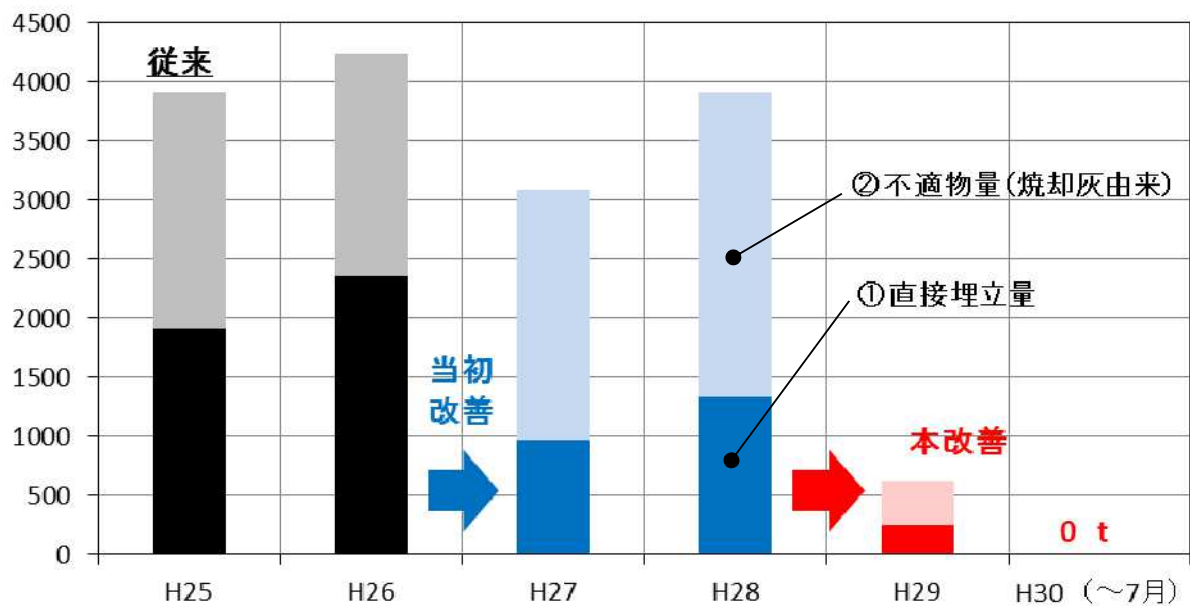
その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
	<p>・既定の処理方法にとらわれず、他市の先進的な取組について情報収集しながら、「直接埋立」という課題の解決に取り組むことができた。</p> <p>・最終処分場の埋立量について、年間約2,600ト(*)の削減が可能となった。 *平成26年度と平成29年度の埋立量を比較</p>			

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）

処理の流れと改善の経過



【改善効果】焼却灰の最終処分場直接埋立量・不適物



【優秀賞】

改善・実績報告書

局(区)名	部名	課名	主管する班名
消防局	相模原消防署	警備課	相模原消防署警備課 庶務・調整班

改善実施年度	件名
平成29年度	潜水救助活動時の溺者早期発見方法について

事務・事業の内容 現状及び課題		<p>潜水救助を行う際、検索範囲の中心を示すための目印として、水面上に球状の「ブイ」を浮かべる。このブイには「沈錘」と呼ばれる金属製の重りがロープを介して結着されており、このロープの長さは水深に応じて手作業で調整する。これらの資器材の水面搬送は、隊員2名が「浮環・うきわ」を用いて行うが、ブイ及び浮環の浮力だけでは沈錘を保持できないため、沈錘を持ちながら移動している。特に検索範囲が岸から離れている場合や流速の早い場所への搬送及びロープの長さ調整は困難を極めており、結果として溺者発見に時間を要している。</p>			
改善等内容		<p>2つの浮環を重ね、その中心にロープを巻いた樹脂製のドラムを取り付け、ロープには、「握る」「離す」の動作だけで操作可能な登降器(ロープ登はんや、降下する際に使用する山岳救助資器材)を取り付ける。これにより、沈錘は浮環の浮力で浮き、ロープの長さ調整も迅速に行える。このため、検索範囲への隊員の移動及び検索開始までの時間の大幅な短縮並びに隊員の体力消耗による注意力低下が無くなり、心理的余裕が生まれ、溺者の早期発見が可能となり市民の負託にこたえることができる。なお、これにかかる経済的なコストは無い。</p>			
改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等)	改善前	水難資器材を完全装着した隊員2名で、水面を10メートル移動し、水深10メートル地点へ沈錘を設定した場合の所要時間=約3分(水流考えず)		
	経費的効果 (経費削減・収入増加等)	改善後	水難資器材を完全装着した隊員1名で、水面を10メートル移動し、水深10メートル地点へ沈錘を設定した場合の所要時間=約1分(水流考えず) 装備されている資器材を活用することから、新たな経費は発生しない。		
	その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
		<p>設定にかかる時間短縮及び隊員の労力負担軽減により、早期救出に繋がることにより、救命率の向上が見込まれる。</p>			

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）

【改善前（実際は、この作業を水面で実施します。）】



事前の設定状況



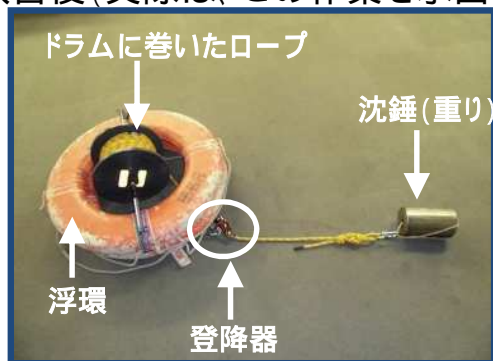
沈錘が沈むことから浮環を用意し2名において、人力で搬送することにより時間及び労力がかかる。



検索位置到着後、ロープを解き、沈錘を水底に下ろし、再び結ぶため時間がかかる。



【改善後（実際は、この作業を水面で実施します。）】



事前の設定状況



2つの浮環により沈錘が浮く。



浮いた沈錘及びブイを引っ張ることにより1名で搬送できる。



登降器のレバーを握ったり離したりすることで沈錘を水底に下ろすことができ、容易かつ迅速に設定ができる。

【優秀賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部名	課名	主管する班名
総務局	渉外部	広聴広報課	広報班

改善実施年度	件名
平成29年度	広報紙スマホアプリと専用サイト「マイ広報さがみはら」運用開始

<p>事務・事業の内容 現状及び課題</p> <p>近年の携帯情報端末の普及、若年層における紙離れなどにより、紙ベースから市の情報を受け取る市民の割合は、減少傾向にある。市が発行している広報紙「広報さがみはら」は、市ホームページから電子で閲覧することも可能であるが、広報紙データをPDF形式で掲載しているため、スマートフォン（以下「スマホ」という）等からの閲覧がしにくく、必要な情報が見つげにくい。また、メールマガジンにより情報を配信していたが、内容は抜粋した一部の情報のみであった。さらに、翻訳機能が利用できないため、外国人住民は情報が取得しにくい。</p>	
<p>改善等内容</p> <p>市の情報をスマホから受け取る市民の割合は、増加傾向にあると考えられるため、スマホなどからも簡単に広報紙の情報を取得できるスマホアプリを作成した。アプリではデータが記事ごとにカテゴリ分けされており、必要とする情報を、絞り込みでの閲覧やキーワード検索により、手軽に受け取れるようになった。また、アプリをダウンロードせずに利用できる専用サイトを開設。サイトではアプリの機能に加え100カ国の言語での自動翻訳ができ、外国人も情報が取得しやすくなった。（運用経費年間約100万円）</p>	
改善効果	<p>改善前</p> <p>事務能率的効果 （作業時間・人員等）</p> <p>経費的効果 （経費削減・収入増加等）</p> <p>事務量：メールマガジンの作成 2日×2回/月</p>
	<p>改善後</p> <p>事務量：マイ広報さがみはらのデータ確認 半日×2回/月</p>
<p>その他の効果</p> <p>創造性・先進性 市民サービス向上 市のイメージアップ その他</p> <p>アプリは平成29年度末までに約5,000ダウンロードを達成。専用サイトは年間約40,000のアクセスがあり、より多くの市民が市の情報を取得できるようになったと考えられる。また、市の情報発信力の強化にもつながった。</p>	

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）

マイ広報さがみはら

全て 子育て 健康 暮らし スポーツ 観光

広報さがみはら 平成29年1月15日号

検索

市の手続き、イベントや施設のお問い合わせに...
暮らし
相模原市コールセンター 午前8時～午後9時 年中無休 電話042-770-777...

ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組んでいます
暮らし
市では、働きながら安心して子育てや介護ができる地域社会を目指して、積極的に仕事...

TOPICS 祝 青山学院大学が箱根駅伝3年連続3度目の総合優勝!
スポーツ
問い合わせ スポーツ課 電話042-769-9245
1月2日・3日に開催さ...

【優秀賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
教育局	教育環境部	学校保健課	保健班

改善実施年度	件 名
平成29年度	自動体外式除細動器（AED）の屋外移設について

事務・事業の内容 現状及び課題		<p>小中学校に配備しているAEDは、学校の教育活動における万一の事態に対応するため、基本的に職員室等の校舎内で管理している。</p> <p>また、土日も含めて、教職員等がいる場合は、学校体育施設開放利用団体や近隣住民等も利用可能としていたが、平成29年5月末、日直代行員制度の廃止に伴い、土日等に学校体育施設開放利用者や近隣住民に万一の事態が生じても、教職員の不在により、AEDを使用できない状態となっていた。</p>			
改善等内容		<p>各学校では、地域とのつながりを重視し、地域とともにある学校づくりの推進に取り組んでおり、学校体育施設開放利用者や近隣住民の命を守るため、教職員が不在の時間帯であってもAEDを利用できるように、職員室等で管理しているAEDを屋外に移設した。</p>			
改善効果	事務能率的効果 （作業時間・人員等）	改善前			
	経費的効果 （経費削減・収入増加等）	改善後			
	その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
		<p>小中学校の校舎内に設置していた自動体外式除細動器（AED）を、教職員がいない場合でも学校体育施設開放使用団体の利用者や近隣住民の方々が緊急時に使用できるよう、屋外に設置したことにより、AED利用可能な市民が増加し、市民の安心感及びサービスの向上に寄与した。（他自治体からの視察、問い合わせも有り）</p>			

【優秀賞】

改善・実績報告書

局(区)名	部名	課名	主管する班名
こども・若者未来局		こども・若者支援課	施設管理班

改善実施年度	件名
平成29年度	児童クラブ入会説明映像作成による内容の統一及び時間外勤務削減

事務・事業の内容 現状及び課題	<p>市立児童クラブ(68施設)の入会説明会は、例年2~3月の土・日曜日に、各児童クラブにおいて開催しているが、当日はこども・若者支援課の施設担当職員がそれぞれ出席し、口頭で説明を行っていた。</p> <p>そのため、職員の時間外勤務・休日勤務が発生、説明者が異なるため、全保護者に対し説明が統一されていない、などの課題があった。</p>
--------------------	---

改善等内容	<p>これまで職員が口頭で説明していた内容を、パワーポイントで映像化するとともに、音声解説を加えてDVDに録画し、事前に各児童クラブへ配布する。</p> <p>配布したDVDをプロジェクター等に映し出す作業は、児童クラブの職員が行うため、施設担当職員は入会説明会へ出席しなくてもよい。</p> <p>また、入会説明会を欠席した保護者に対しては、後日、映像を視聴してもらい、同じ説明を聞くようにした。</p>
-------	---

改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等) 経費的効果 (経費削減・収入増加等)	改善前	<ul style="list-style-type: none"> ・68施設×約2時間=約136時間の時間外勤務・休日勤務が発生(入会説明会は基本的に土・日曜日に開催するため、時間外勤務手当や休日勤務手当が発生) 			
		改善後	<ul style="list-style-type: none"> ・DVDを活用することで、職員の時間外勤務・休日勤務を削減 ・平成30年度の入会説明会では約20施設でDVDを活用したが、今後は全施設に拡大予定 			

その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童クラブに共通するルール等を全ての保護者へ同一内容で説明できた。 ・映像化することで、視覚的に伝えることができ、より分かりやすくなった。 ・説明もれや説明方法の違いによる誤解を回避することができた。 			

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
市民局		交通・地域安全課	

改善実施年度	件 名
平成29年度	インターネットによる「交通事故発生箇所マップ」の公開

<p>事務・事業の内容 現状及び課題</p>		<p>市内で発生する自転車関連の交通事故件数は、全交通事故件数の約3割を占め、県内平均を大きく上回る状況が続いており、県交通安全対策協議会より、中央区と南区が平成30年度の自転車事故多発地域に指定されている状況である。 こうしたことを背景に市自治会連合会から交通事故防止対策として、発生場所等の情報を市民に提供できるシステムの構築が要望されていた。 これまで、交通事故に関する情報は、警察本部から提供される市内や警察署単位に集計された発生件数、死傷者数等を統計資料として提供を行っている。</p>									
<p>改善等内容</p>		<p>これまでの統計資料に加え、新たに、毎月警察本部から交通事故情報の提供を受け、インターネットサービス会社が提供する地図作成機能（無償）を利用し、自転車事故だけでなく、歩行者や自動車の事故などの交通事故全般について、1件ごとの発生場所、時間帯、天候、当事者の行動などを地図情報として市ホームページでの公開を開始した。これにより、インターネット上で交通事故の発生場所や状況等を視覚的に確認・把握することが可能となった。</p>									
改善効果	<p>事務能率的効果 （作業時間・人員等）</p>	改善前									
	<p>経費的效果 （経費削減・収入増加等）</p>	改善後									
	<p>その他の効果</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>創造性・先進性</th> <th>市民サービス向上</th> <th>市のイメージアップ</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他					<p>地域や自宅周辺における交通事故のより具体的な発生状況が把握でき、地域での効果的な啓発活動等や注意喚起のツールとしての活用が期待できる。また、協働提案事業による地域の危険箇所等の具体的な事例を取り入れた実践的な自転車安全講習会においても基礎資料として活用している。</p>
創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他								

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）

【概要】

1 提供情報

(1) 事故分類（自転車関連事故、人対車両、列車、車両相互 / 単独の4分類）

(2) 当事者種別（自転車、歩行者、原付、自動二輪車、自動車、対象外当事者）

当該交通事故における過失の軽重（第1当事者・第2当事者）が推測できないよう、第1当事者・第2当事者に関わりなく、自転車、歩行者、原付、自動二輪車、自動車、対象外当事者の順に表示

(3) 道路形状

(4) 事故形態

(5) 発生時の行動

(6) 天候

(7) 発生時間帯

(8) 曜日

(9) 発生場所

(10) 発生年月

2 提供情報の期間

当年分（1月から先々月）及び過去2年分

3 提供情報の更新時期

当月発生分の事故データを翌々月初に追加更新

4 公開開始日

平成29年4月12日

5 公開後の閲覧件数（H30.7.27現在）

242,814件 / 472日（514件 / 日）

【イメージ】

← 自転車関連

事故分類
自転車関連

当事者種別
自転車・自動車

道路形状
交差点

事故市街
その他

発生時の行動
濃霧・霧

天候
昼

発生時間帯
10時台

曜日
木

発生場所
中央区中央2丁目12番

発生年月
平成30年05月

アイコンをクリック
詳細情報を表示

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
危機管理局		緊急対策課	情報通信班

改善実施年度	件 名
平成28年度	民間サービスを利用した防災情報の配信

<p>事務・事業の内容 現状及び課題</p>		<p>市では、災害時に防災行政用同報無線（ひばり放送）のほか、防災メール、tvkデータ放送、テレホンサービスなど伝達方法の多重化多様化を図り、市民へ防災情報を配信している。さらに、防災情報を市民に確実に届けるためには、防災メール等の利用の促進を図るとともに、生活スタイルの変化に合わせた新たな情報伝達手段を導入する必要がある。</p>			
<p>改善等内容</p>		<p>スマートフォンの普及が進む中、市からの新たな防災情報の配信手段として、民間事業者であるヤフー株式会社が提供する防災アプリ「Yahoo!防災速報」を利用した情報配信を開始した。 これにより、「Yahoo!防災速報」のアプリの利用者で相模原市を登録している7万人以上に対し、市からの緊急情報の配信が可能になった。</p>			
<p>改善効果</p>	<p>事務能率的効果 （作業時間・人員等） 経費的効果 （経費削減・収入増加等）</p>	<p>改善前</p>	<p>市の防災メールは、電子メールのため、利用者がメールを確認しなければ、市からの情報が届いたことを認識できなかった。</p>		
		<p>改善後</p>	<p>「Yahoo!防災速報」は情報が届いた際にスマートフォンの画面に表示がされる、いわゆるポップアップ表示に対応しているため、利用者が市から緊急情報が届いたことを容易に確認できる。 また、導入経費・維持費等は無料のため、財政的な負担がなく、新たな情報配信手段を導入することができた。</p>		
	<p>その他の効果</p>		<p>創造性・先進性</p>	<p>市民サービス向上</p>	<p>市のイメージアップ</p>
		<p>「Yahoo!防災速報」は、あらかじめ利用者が設定したエリア（最大3箇所）と現在地に応じて必要な情報を受け取ることが可能なため、仕事などで市外に出ている市民の方、市外から通勤・通学、観光等で市内に来られている方へ情報配信ができる。</p>			

【奨励賞】

改善・実績報告書

局(区)名	部名	課名	主管する班名
議会局		議事課	
総務局	総務部	総務法制課	総務班

改善実施年度	件名
平成29年度	議会への情報提供資料のペーパーレス化

事務・事業の内容 現状及び課題		<p>議会への情報提供は、年間約530件あり、計画などの冊子も含め、全て紙で各議員に配付している。 情報提供を行う際は、資料の印刷作業のほか、印刷物の持ち込み、各議員への配付に時間を要するとともに、紙の消費量が膨大となっている。</p>			
改善等内容		<p>議会への情報提供資料をPDFデータ化して、電子データでの提供に変更した。 なお、計画などの冊子については、全議員から各会派への配付に変更して部数を削減している。 情報提供の電子化により、資料を印刷する必要がなくなり、紙の消費量の減少とともに、提供に要する時間が短縮された。</p>			
改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等)	改善前	年間配付数:紙19,000枚、パンフレット2,000枚、庁内印刷冊子12,500枚、製本冊子1,250冊 1件の印刷から配付までに要する時間:30分*530件=15,900分(265時間)		
	経費的効果 (経費削減・収入増加等)	改善後	年間配付数:紙0枚、パンフレット0枚、庁内印刷冊子1,040枚、製本冊子440冊(平成30年1月から同年6月までの実績に基づく想定数) 1件の印刷から配付までに要する時間:10分*530件=5,300分(88.3時間)		
その他の効果		創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
		各議員による資料の保管、検索が容易になったほか、議会局の台帳管理における利便性も向上した。			

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
企画財政局	税務部	資産税課	家屋評価班

改善実施年度	件 名
平成29年度	家屋課税客体把握の効率化と課税台帳の地理情報化

<p>事務・事業の内容 現状及び課題</p>		<p>家屋の課税客体の現況把握については、地方税法において実地調査が定められているが、膨大な棟数の調査には多くの人員と期間を要するため、規模の大きい自治体ほど実施が困難な状況にある。本市においては登記所からの通知、建築確認申請等を基に行っているが、これらが無い家屋は把握が難しく更正の原因となっている。また課税台帳は文字情報で管理しているため地図上での家屋の特定が難しく、問い合わせ対応の遅れや取り違いによる事務処理ミスの原因となっている。（年間処理件数 新增；約3,300件 減失；約2,300件）</p>			
<p>改善等内容</p>		<p>G I S（地理情報システム）を用いて2時期の航空写真を電子的に比較できる家屋経年異動調査システムを構築した。このシステムにより異動家屋の抽出と調査票の出力を半自動的に行うことで、多くの人員を必要とせず、毎年の実地調査に代わり効率的に課税客体の現況を把握する方法を確立した。 また、課税台帳と家屋図の電子的な紐付を行い、地図データ上での台帳情報の表示を可能にすることで、これまで文字情報で管理していた課税台帳の地理情報化を実現した。</p>			
<p>改善効果</p>	<p>事務能率的効果 （作業時間・人員等） 経費的効果 （経費削減・収入増加等）</p>	<p>改善前</p>	<p>現年更正件数；184件 当該年度のみ更正。 経年異動調査件数；0件 経年異動調査は未実施。建築確認申請、登記簿等による調査のみ。</p>		
		<p>改善後</p>	<p>経年異動調査件数；約780件 システムにより電子的な差分抽出を行い、実際に調査を実施した件数。 現年更正件数；281件 現年更正件数の増加＝将来的な過年度更正件数の削減、還付・加算金の抑制。 経年異動調査による更正の効果；約240万円の税込増、約100万円の還付増額については次年度以降もプラスされる。</p>		
	<p>その他の効果</p>		<p>創造性・先進性</p>	<p>市民サービス向上</p>	<p>市のイメージアップ</p>
<p>課税客体把握の効率化により、複数年度に跨る更正を削減できた。また個々で管理していた課税台帳、家屋図、航空写真の一元管理を実現したことにより、家屋・土地評価間の連携という点でスムーズな情報共有が可能となった。これにより、建築審査課との業務連携が可能となり、さらに被害家屋調査の効率化等様々な効果が得られた。</p>					

【奨励賞】

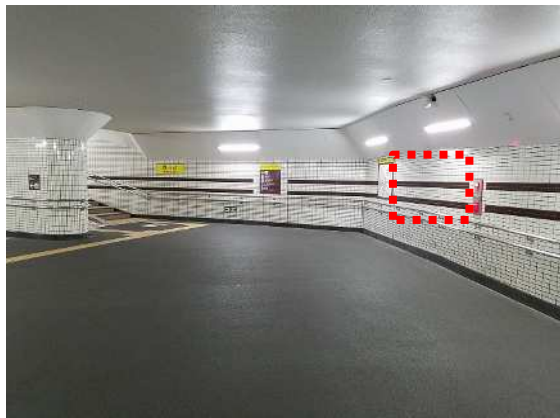
改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
教育局 緑区役所 都市建設局	生涯学習部	スポーツ課 区政策課 都市建設総務室	スポーツ振興班

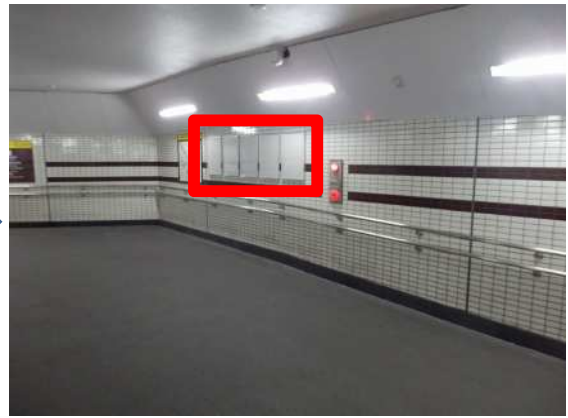
改善実施年度	件 名
平成29年度	国道16号地下道を活用したスポーツ・地域振興の情報発信

事務・事業の内容 現状及び課題		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・地域振興に係る情報発信について、市内主要駅等の掲示板を活用して行っていたが、橋本駅周辺において、PRに適した場所の確保が課題となっていた。 ・情報発信において、ポスターが多く、材質は紙などのため、雨風等の影響を受ける場合、劣化などが想定され、掲示場所は屋内など限定される。 ・地下道は平成25年7月に開通し、開通直後の調査によると約8千人/日が利用するなど、橋本駅を利用する国道16号以西の住民は日常的に利用している。 ・地下道の壁面には、装飾がなく、比較的無機質な空間となっていた。 			
改善等内容		<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者（国）と調整して、無償による掲示板設置許可をいただき、地下道の壁面に掲示スペースを設けた。 ・スポーツ・地域振興の情報発信を実施した。 ・毎日、通勤、通学者が通行する場において、情報の提供が可能となった。 			
改善効果	事務能率的効果 （作業時間・人員等）	改善前	・情報発信の場所は設置していない。		
	経費的効果 （経費削減・収入増加等）	改善後			
	その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）



設置前(緑区役所側壁面)



設置後(緑区役所側壁面)
A2版ポスターフレーム 5枚



設置前(橋本駅～西武信用金庫側壁面)



設置後(橋本駅～西武信用金庫側壁面)
A2版ポスターフレーム 5枚



発信情報の例: ホームタウンチームのPR、試合日程案内

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
こども・若者未来局		児童相談所	初動調整班

改善実施年度	件 名
平成29年度	緊急受理会議、臨時援助方針会議等の効率化

事務・事業の内容 現状及び課題		<p>平成28年度の虐待相談通告にかかる緊急受理会議は新規・再開受理1,036件、再通告691件、不明ケース非行ケース等を含むと1,830件の受理会議を実施している。また、臨時援助方針会議も646件実施されている。</p> <p>従前は、これらの会議開催にあたって、参加者に紙ベースの資料を配布していたが、検討件数が増加する中で、紙ベースの通告受理票の情報のみで判断することが限界となり、その場で児童の過去の経過など児童相談業務システム情報を確認する必要が出てきていた。</p> <p>また、上記会議時に内容を職員で共有するため1件につき出席者全員分の資料が必要であり、紙使用が増加していた。</p>			
改善等内容		<p>会議用テレビモニター及び各自パソコンでの情報共有を図る中で、可能な限り資料を電子化し、コピーを最小限（決裁用など3部）にとどめ、会議を開催することとした。</p> <p>同じ資料を参加者全員が共有し、紙面以外の過去の情報も参照しながら検討を進めることができるようになった。また、会議資料の複写を配布する手間が減り、迅速な会議開催に繋がった。</p>			
改善効果	事務能率的効果 （作業時間・人員等） 経費的効果 （経費削減・収入増加等）	改善前	<p>情報が紙面に表されているものに限られ、その場で児童の過去の経過など児童相談業務システム情報を確認が困難だった。また、平成28年度は1年間に実施した緊急受理会議、臨時援助方針会議の合計実施回数が2,476回だったため、同会議で使用したコピー用紙が推定25,000枚となっていた。</p>		
	改善後	<p>平成29年9月から平成30年5月末（9か月間）に合計1764件の会議を実施した。会議資料の電子化により、会議開催時に児童の過去の経過など児童相談業務システム情報を確認可能となり、検討の精度が上がっている。また、13,000枚分のコピー用紙使用削減につながり、また担当職員の会議準備の負担軽減とともに、何よりも会議開催の円滑化や共有の促進につながった。</p>			
その他の効果		創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
中央区役所		大野北まちづくりセンター	

改善実施年度	件 名
平成30年度	総合窓口での受付方法の見直し

<p>事務・事業の内容 現状及び課題</p>		<p>総合窓口で受付をする際に、短時間で処理可能な証明発行申請書類と、処理に時間のかかる届出書類を全て同じ窓口で一旦預かり番号札を渡していた。届出事務については、受付で記入漏れ等の確認後に、担当者がその書類の内容を全て確認してから来庁者を呼び出して手続きをスタートさせていたため、順番が来るまでの待ち時間が長いうえ、呼び出されたときには処理が終わっているものと勘違いさせてしまいトラブルとなるケースが多かった。また、提出した書類の事務処理はまだできないのかと受付への問い合わせも多かった。</p>			
<p>改善等内容</p>		<p>届出書類を提出すれば処理が進んでいるとの勘違いからトラブルになるのを防ぐため、総合窓口では来庁目的を確認して番号札と届出に必要な書類を渡すだけにし、待ち時間に書類を記入してもらい、職員は受付が記入したメモを確認し、順番に来庁者を案内するよう変更した。メモの様式は従前から使用しているものにチェックするだけでわかるようにしたため受付職員の負担を減らすことができた。また、事前に届出書類を提出していないことで、待ち時間中に処理が完了しているとの来庁者の勘違いもなくなり、受付への苦情もほとんどなくなった。</p>			
<p>改善効果</p>	<p>事務能率的効果 (作業時間・人員等) 経費的效果 (経費削減・収入増加等)</p>	<p>改善前</p>	<p>総合受付職員の対応 180分 = 繁忙期80人/日 × 記入済み書類の預かり及び確認時間(2分) + 苦情対応(1分) × 20人</p>		
		<p>改善後</p>	<p>記入済み書類の確認は担当職員が接客しながら行うため、総合受付職員の負担はなくなり、短時間で処理可能な証明発行事務に対応できるようになった。使用するメモの様式も従前から使用しているものを活用したため、事務負担や経費もかかっていない。また勘違いから起こる苦情もほとんどなくなった。</p>		
	<p>その他の効果</p>		<p>創造性・先進性</p>	<p>市民サービス向上</p>	<p>市のイメージアップ</p>
		<p>届出書類を提出しても事務処理が進んでいないという事務の遅滞を勘違いされることはなくなった。</p>			

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
環境経済局	環境共生部	環境政策課	環境政策班

改善実施年度	件 名
平成30年度	さがみはら環境まつりと他の民間イベントとの連携によるPR拡大

事務・事業の内容 現状及び課題	<p>このイベントは、環境学習の推進し、環境保全活動を促進するため、産官学民連携による実行委員会形式で、主に市民向けに実施してきた。 しかしながら、集客数は、ここ数年ほぼ横ばいであることから、限られた予算内で、より効果的な周知方法の検討が課題となっている。</p>
--------------------	--

改善等内容	<p>本年は、このイベントを相模大野のユニコムプラザで実施することから、小田急電鉄株が実施している事業との連携を働きかけたところ、大野総合車両所で実施する「おだきゅう親子環境教室」との連携に合意することができた。 このことで、小田急電鉄株の車内中吊りポスターをはじめ、駅へのポスターの掲示やチラシの配架など、当該イベントの広域的で効果的な周知に成功した。</p>
-------	---

改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等) 経費的效果 (経費削減・収入増加等)	改善前	市内公共施設や自治会掲示板におけるポスターの掲示や、市ホームページ・報道提供などによる周知は実施しているが、主に市内向けの周知にとどまっていた。			
		改善後	小田急電鉄株の事業の周知に本市の事業を掲載してもらうことで、無償で広域的な周知に成功した。 なお、車内中吊りポスターなど、今回の小田急線の交通広告料金を概算すると、約200万円を要すると想定される。			

改善効果	その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）

車内中吊り広告



2018 おだきゅう 親子環境教室in相模大野 参加者募集

日時:6月24日(日) 10時00分~15時00分

場所:大野総合車両所およびユニコムプラザさがみはら
(bono 相模大野サウスモール 3階)・ポーノ広場



応募締切 2018年5月27日(日) 募集人数 小学生とその保護者30組(60名)
後援:相模原市 協力:さがみはら環境まつり実行委員会、横浜国立大学、株式会社クミックス

小田急では、環境省が提唱する環境月同の6月に、「親子環境教室」を行います。今年も相模大野で開催。まずは大野総合車両所で、施設の見学や低騒音機器を導入した車両整備・点検など、環境に配慮した取り組みを紹介。午後からは、さがみはら環境まつりの中で「水素で走る燃料電池自動車や電気自動車」を見学するなど、地球にやさしい水素エネルギーについて体験学習します。普段は入れない場所を見学できたり、「エコ」について楽しく学べる貴重な機会です。皆さま是非ご参加ください。



[詳細・応募はこちら](#)

ここでね ずっとね 検索

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
健康福祉局	保健所	生活衛生課	食品衛生班

改善実施年度	件 名
平成29年度	食品衛生責任者講習会の案内について

事務・事業の内容 現状及び課題		<p>【はがき発送】 飲食店等の食品衛生責任者に対し衛生講習会のはがきを、年間を通して約5,500枚発送している。発送後、食品衛生責任者から「都合が悪いため別日程を教えてください」との問い合わせが多数寄せられている。</p> <p>【コールセンターの活用】 上記以外にも、当課に基本的な質問が多数寄せられる。 (例：日程変更に関すること、当日持参するもの、食品衛生責任者変更手続き等)</p>			
改善等内容		<p>【はがき発送】 食品衛生責任者講習会の日程は、従来から本市ホームページにて掲載していたことから、はがきにQRコード及びURLを記載することで当該ホームページの周知及び簡単にアクセスできるように改善した。</p> <p>【コールセンターの活用】 手持ちFAQを作成し、基本的な質問に対しては、コールセンターで対応していただくよう依頼した。</p>			
改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等) 経費的効果 (経費削減・収入増加等)	改善前	<p>【はがき発送】 当該ホームページアクセス数：4,388件</p> <p>【コールセンターの活用】 問い合わせ件数： - 件 FAQによりコールセンターで完結した件数</p>		
	改善後	<p>【はがき発送】 当該ホームページアクセス数：5,270件 前年比20%(882件)増 ・882件×5分=73時間30分縮減</p> <p>【コールセンターの活用】 問い合わせ件数：150件 FAQによりコールセンターで完結した件数 ・150件×5分=12時間30分縮減</p> <p>合計 73時間30分縮減+12時間30分縮減=86時間縮減</p>			
その他の効果		創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
緑区役所		区政策課	

改善実施年度	件 名
平成30年度	「個人情報書類」専用の決裁板の作成

事務・事業の内容 現状及び課題		<ul style="list-style-type: none"> 当課は選挙事務等で「個人情報を含む書類」を取り扱うことが多い。 区長室への来訪者が、日々当課事務室内を通行するため、「個人情報」の取扱いに関しては、より慎重な対応が求められる。 			
改善等内容		<p>課内での「個人情報を含む決裁文書」の取扱いを、以下の方法に統一した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤色の当該専用決裁板を使用すること。 ラミネート加工をした専用表紙で、決裁文書の表紙を覆うこと。 			
改善効果	事務能率的効果 (作業時間・人員等)	改善前	<ul style="list-style-type: none"> 各書類が「個人情報を含む書類」かどうか、事務担当者以外には一見して判断が難しい場合があった。 		
	経費的効果 (経費削減・収入増加等)	改善後	<ul style="list-style-type: none"> 「個人情報を含む書類」を視覚的に認識しやすくすることで、職員の「重要書類を取り扱う」という意識を向上させ、更なる個人情報の管理徹底が図られた。 例：回議・決裁者が、より迅速で優先的な処理を心掛けるようになった。 事務担当者以外の職員でも、注意や管理が行き届くようになった。 		
	その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
		<ul style="list-style-type: none"> 「第三者に個人情報の所在が目立つ」というデメリットへの対応策として、ラミネート表紙で書類を覆い、外部には内容が見えないようにする対策を講じた。 汎用性が高いアイデアであり、かつローコストで簡単に決裁板の作成が可能のため、全庁的にどの課でも共通して活用ができる。 			

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）

【赤色の決裁板】と【黄色のラミネート表紙】



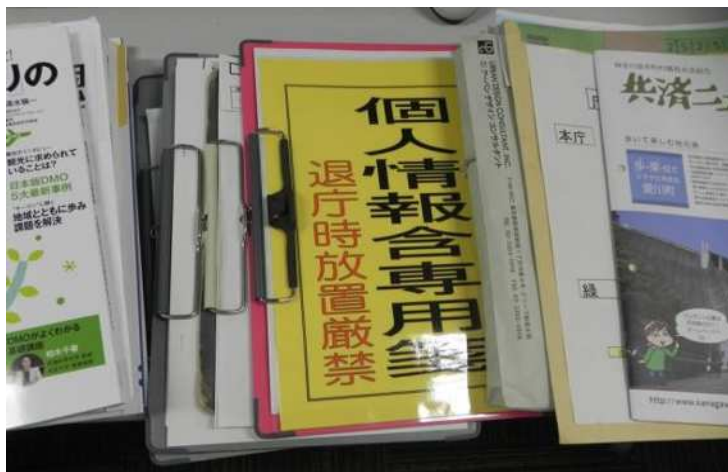
セットした状態

【表】

【裏】



一目で判別ができます。



【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
		会計課	経理班

改善実施年度	件 名
平成29年度	口座振替通知書発送事務の効率化

事務・事業の内容 現状及び課題		口座電算支払で支払手続きをした債権者には「口座振替通知書」という支払の通知ハガキを送付している。 本通知書は庁内組織宛の支払の場合も発行されるため、一件一件目視で庁内メールで送付するものと郵送のものを仕分けしていた。 また、債権者の氏名や法人名に外字（財務会計システム上で表示できない文字）が含まれている場合は、職員が通知書の該当する文字を手書きで修正してから発送していた。			
		・ 庁内メールで送付できる通知書は、印刷時、先頭に出力されるようにし、仕分けの時間を短縮した。（通知書は郵便番号順に発行されるため、登録する郵便番号を000-0000とした） ・ 委員会などの事務局が庁内組織にあり、送付先課が分かりづらいものは債権者登録の住所欄に（ 課内）と追加登録し、送付先課を調べる時間を短縮した。 ・ 常用漢字に置き換えられる外字（一部）は常用漢字で登録することで外字の修正事務を省略できるようにした。			
改善効果	事務能率的効果 （作業時間・人員等） 経費的效果 （経費削減・収入増加等）	改善前	20分 × 245日 = 4,900分（約80時間） （20分の内訳...ハガキ仕分け15分、外字修正5分）		
		改善後	10分 × 245日 = 2,450分（約40時間） （10分の内訳...ハガキ仕分け7分、外字修正3分）		
	その他の効果		創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ

改善に関する内容を補足する資料（写真、図又は説明資料）



口座振替通知書

振込手続日

金融機関	
種目・口座	
口座名義人	

(債権者番号)

次のとおり振込手続きを行いましたので通知します。

相模原市会計管理者

伝票番号 担当課(所)	説明	支払額	控除額	差引振込額

外字を常用漢字に置き換える旨を記載

* ご不明の点がございましたら上記の各担当課(所)にお問い合わせください。
* 上記の振込手続日から入金の日まで3日程かかる場合があります。
* 本通知書は常用漢字に置き換えて表記させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
都市建設局	道路部	道路計画課	計画班

改善実施年度	件 名
平成29年度	道路のストック効果（整備効果）の見える化

事務・事業の内容 現状及び課題	<p>これまで整備が進められてきた圏央道及びそのアクセス道路の完成により、市内の交通状況に変化が見られ、様々な整備効果が発現した。 しかし、こうした効果について、これまでは客観的・定量的把握が十分にされておらず、市民や関係者に整備によって得られた効果が十分にPRできていなかった。</p>			
	<p>圏央道や県道52号、津久井広域道路などの大規模な道路整備による効果を、産業、観光、安全・安心、利便性の向上といった様々な視点から定量的にとりまとめ、市HPへの掲載による市民へのPRや、国への要望活動に使用した。 <ストック効果主な指標> ・進出企業数の変化、企業の投資額の変化、観光客数の変化、交通事故件数の変化、移動時間の短縮 等</p>			
改善効果	事務能率的効果 （作業時間・人員等） 経費的効果 （経費削減・収入増加等）	改善前		
		改善後		
その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他
	<p>市民へ道路の整備により得られる効果を分かり易く伝えることで、市が行う道路事業についてイメージアップが図られた。また、国へ市が行う事業の必要性や有効性について伝えることができた。</p>			

【奨励賞】

改善・実績報告書

局（区）名	部 名	課 名	主管する班名
南区役所		区政策課	総務班

改善実施年度	件 名
平成29年度	宅配便料金の削減

事務・事業の内容 現状及び課題	南区文書集配センターでは、毎年9月に南区内各小学校より作品が宅配便として持込まれ、その日毎に業者へ発送処理を行っていた。 連日、同じ宛先の宅配便が持込まれることや宅配便に余剰がある状態で発送しているなどの課題があった。
--------------------	--

改善等内容	持込まれた宅配便を精査し、同じ宛先毎にまとめ、宅配便のサイズを考慮した再梱包を行い、日毎の発送処理から週1～2回の発送処理とした。
-------	---

改善効果	改善前	各学校より宅配便として南区文書集配センターに持込まれたものを、その日毎に発送とした場合の件数と金額 ・72件 ・33,080円
	改善後	持込まれた宅配便を宛先毎にまとめた発送ができるよう、日毎の発送から週1～2回の発送とした場合の件数と金額 ・54件 ・24,557円（8,523円削減）

その他の効果	創造性・先進性	市民サービス向上	市のイメージアップ	その他

その他の効果	
--------	--